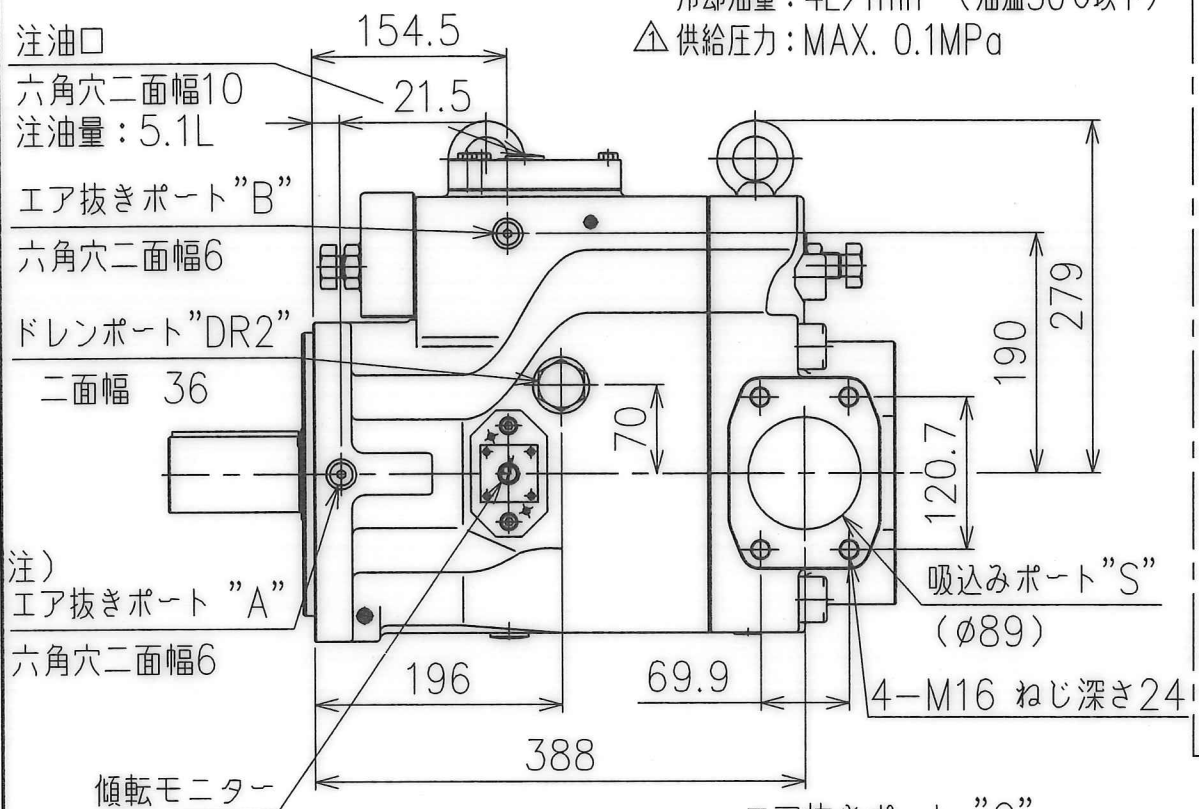
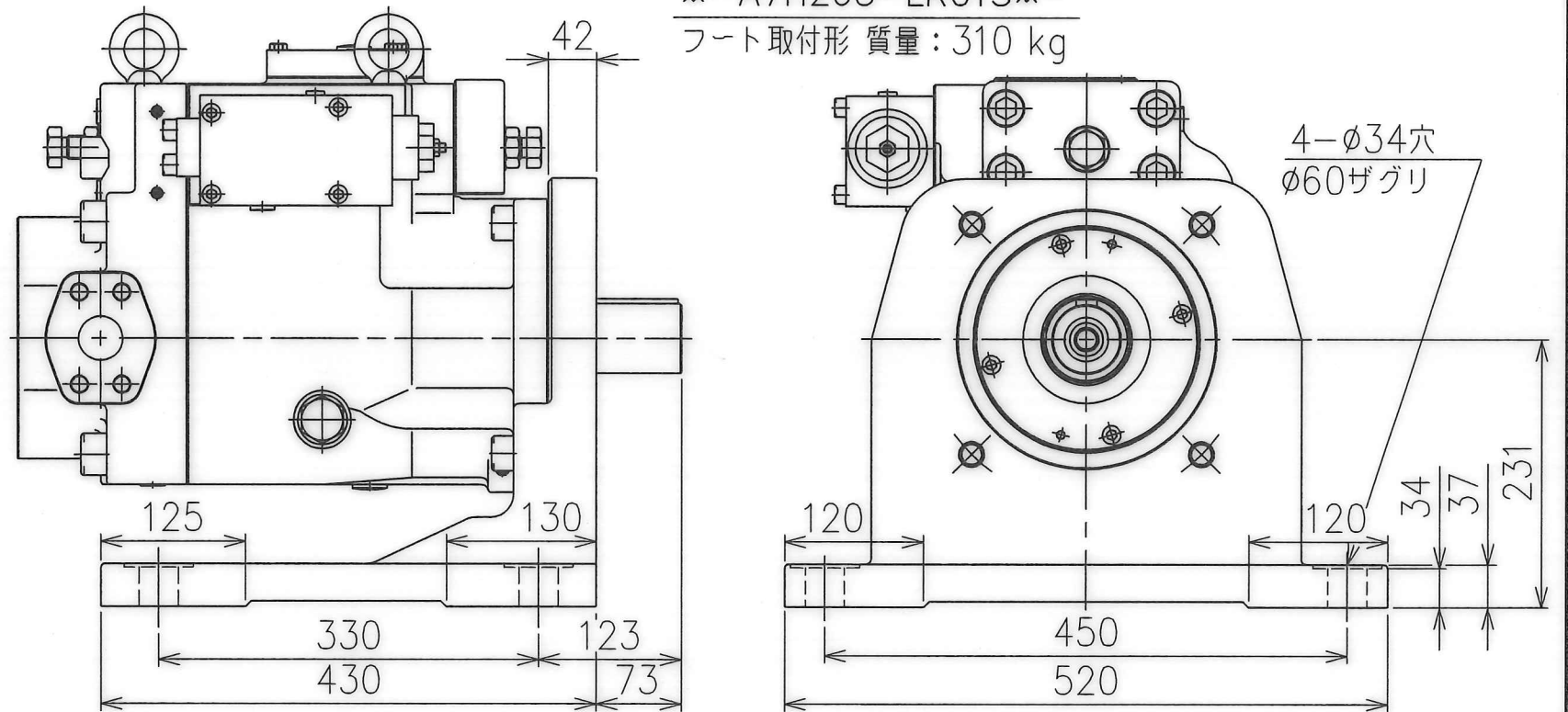


注) M-A7H265の場合、主軸ベアリング冷却の為、強制潤滑ポートとして使用してください。

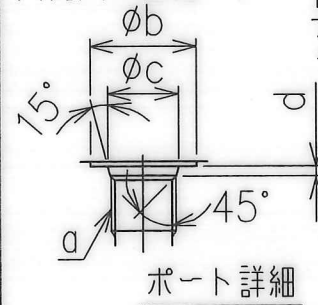
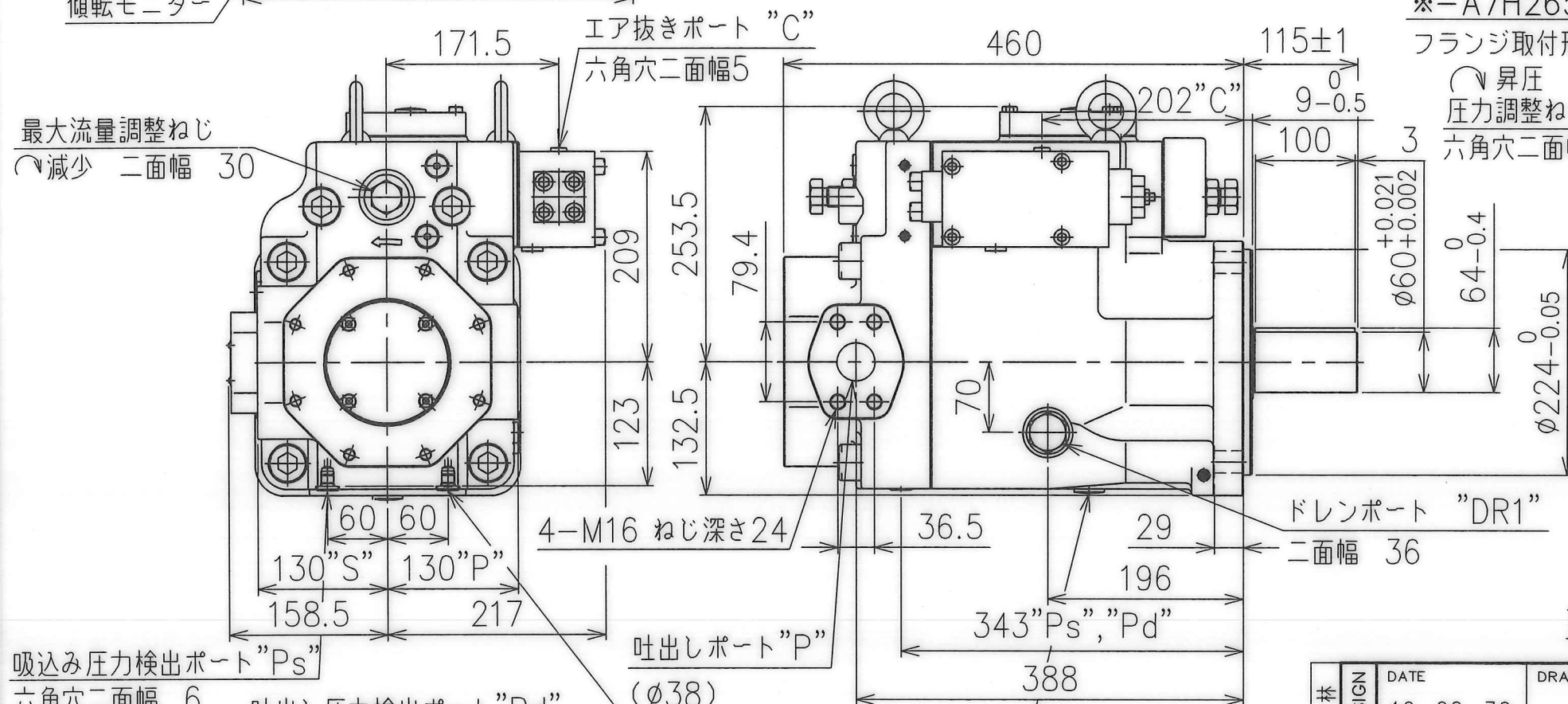
冷却油量：4L/min (油温50℃以下)
 △供給圧力：MAX. 0.1MPa



※-A7H265-LR01S※-
 フート取付形 質量：310 kg

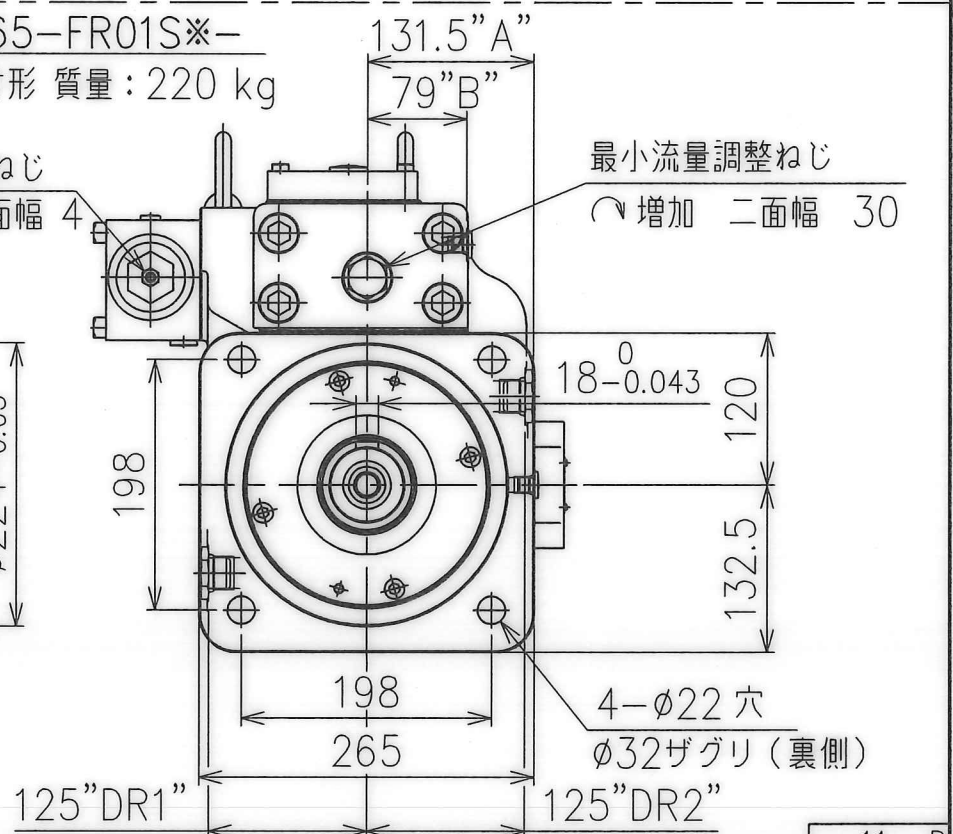


※-A7H265-FR01S※-
 フランジ取付形 質量：220 kg

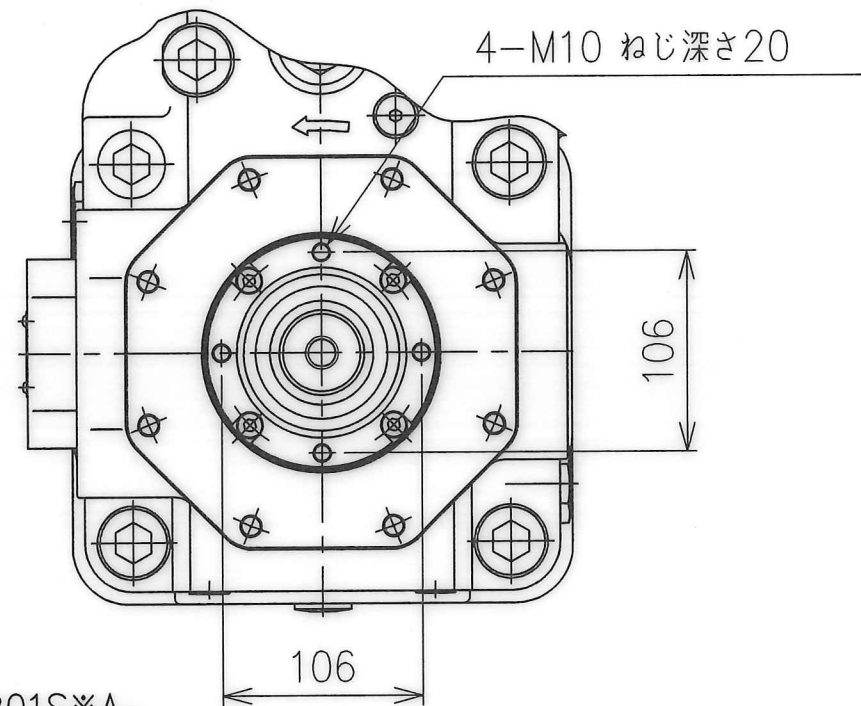
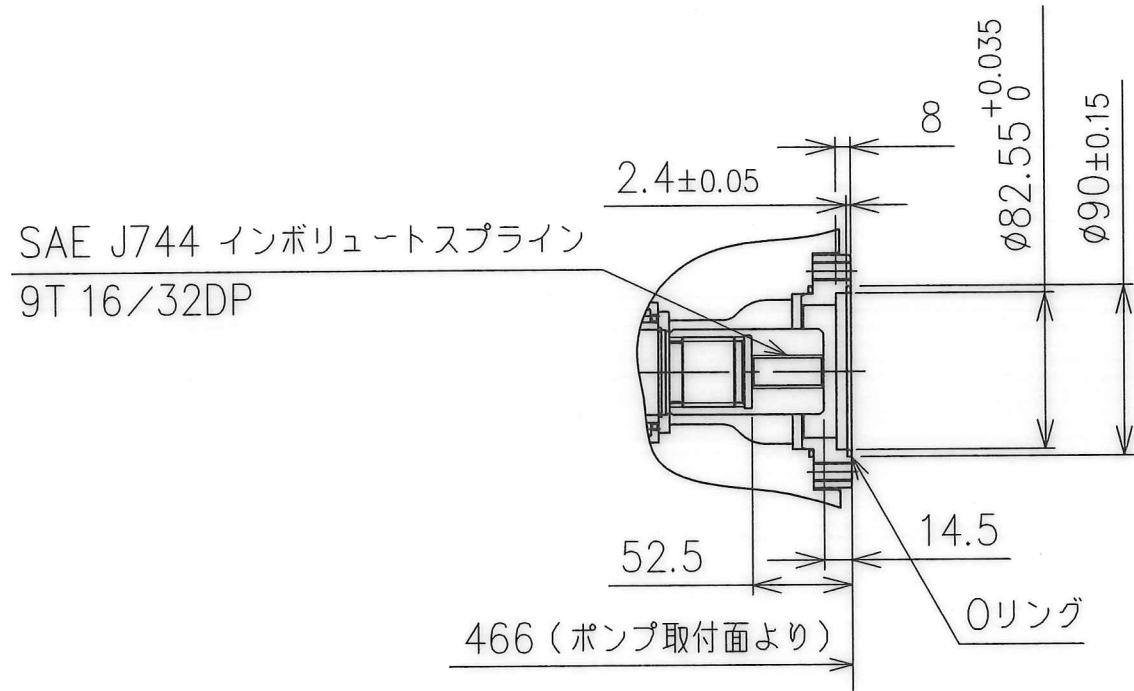


寸法

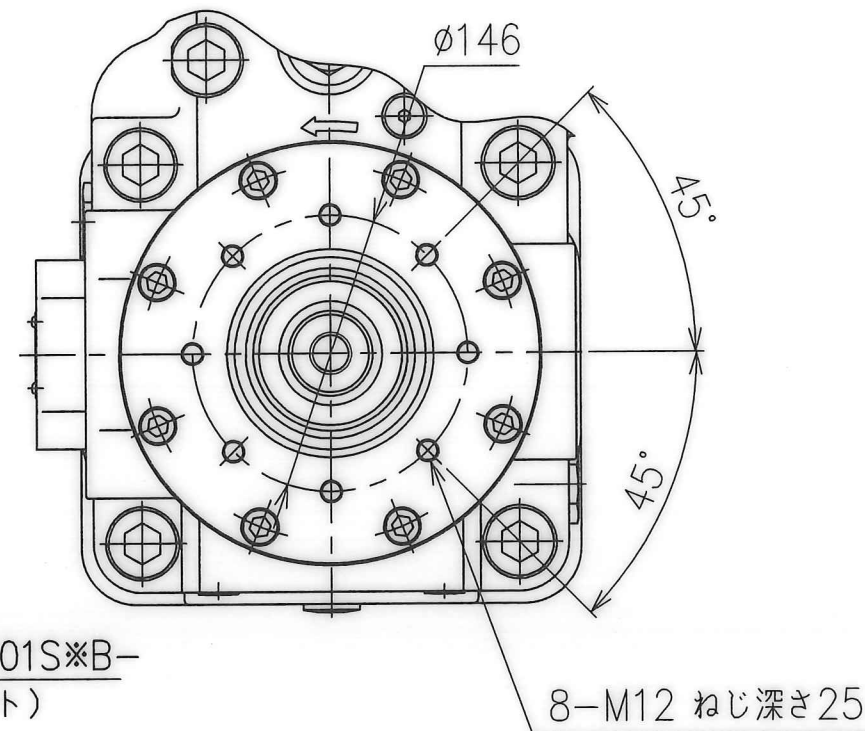
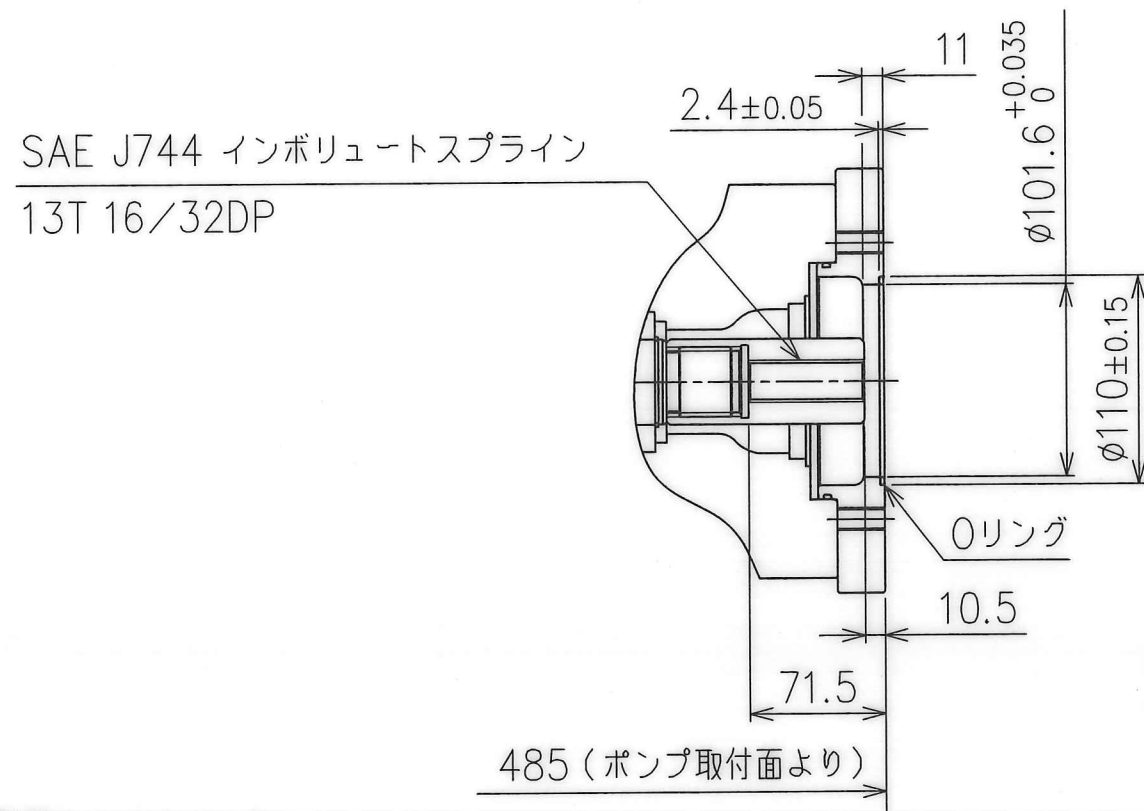
	a	b	c	d
吸込み、吐出し圧力検出ポート	G 1/4	24	15.6	2.5
ドレンポート	G 3/4	45	30.8	3.5
エア抜きポート" A"	G 1/4	24	15.6	2.5



# SIGN DATE APPROVED 寺沢	DATE	16-06-30	DRAWN	林	YUKEN KOGYO CO., LTD. MODEL NO. ※-A7H265-※R01S※-11 NAME A7H265形 可変ピストンポンプ 圧力コンペンセータ制御 DWG NO. PA315749-2-1 (1/4)
	APPROVED	寺沢	CHECKED	安田	
	REVISIONS	DATE	FILE NO.	2177	
	SYMBOL	三角法	THIRD ANGLE PROJECTION		



※-A7H265-※R01S※A-
SAE A取付 (2ボルト)



※-A7H265-※R01S※B-
SAE B取付 (2ボルト)

合計軸トルクについて

下記計算式を参考にして、各ポンプの軸トルクは
下記範囲内としてください。

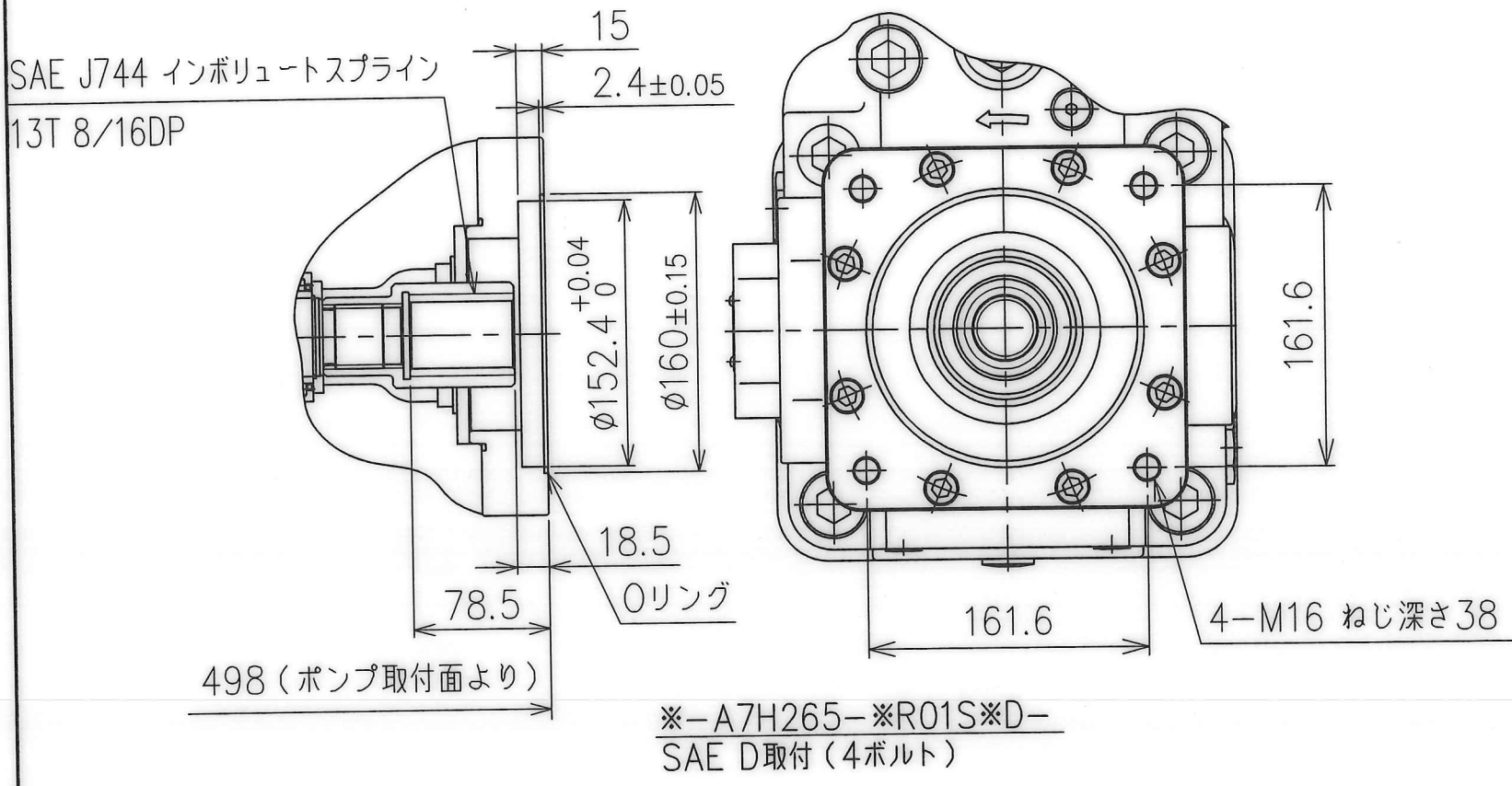
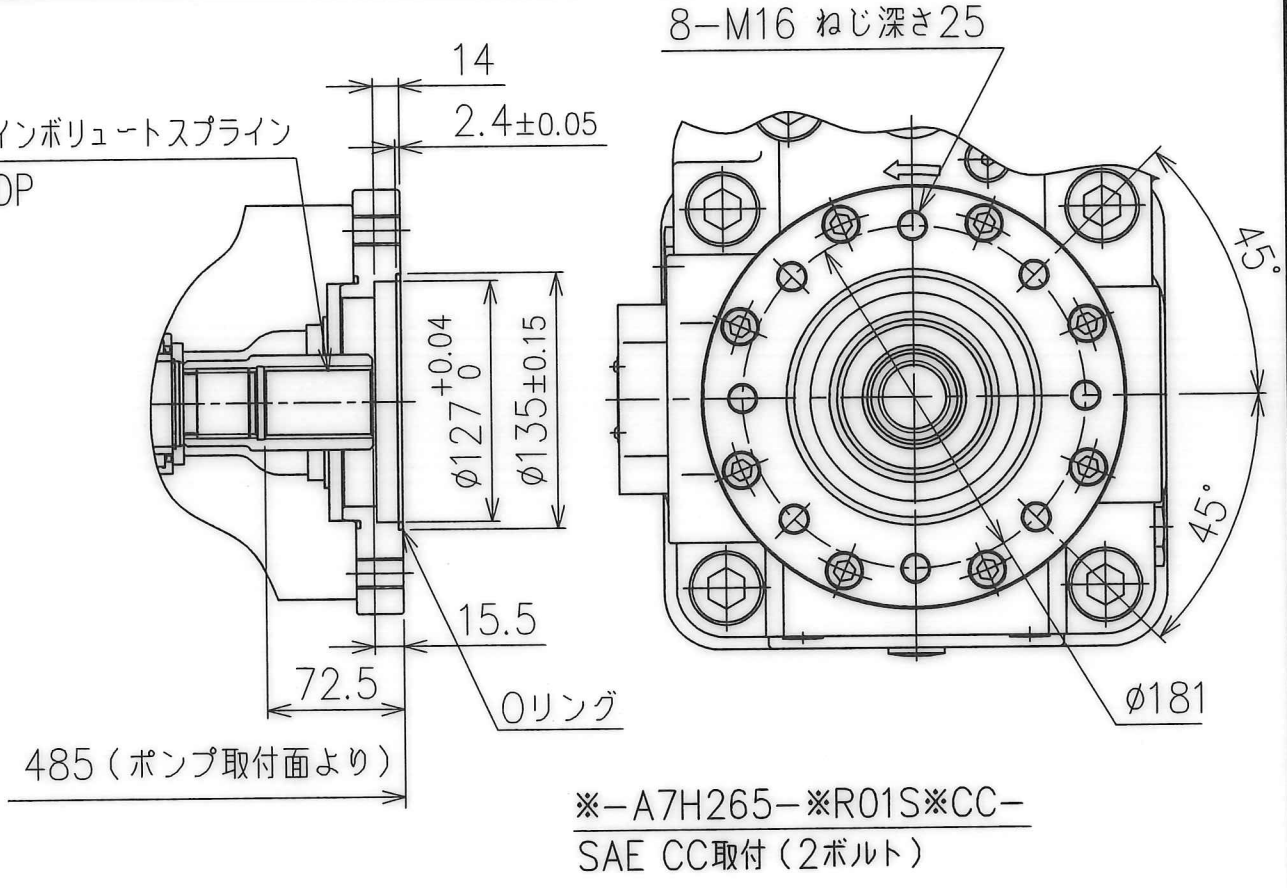
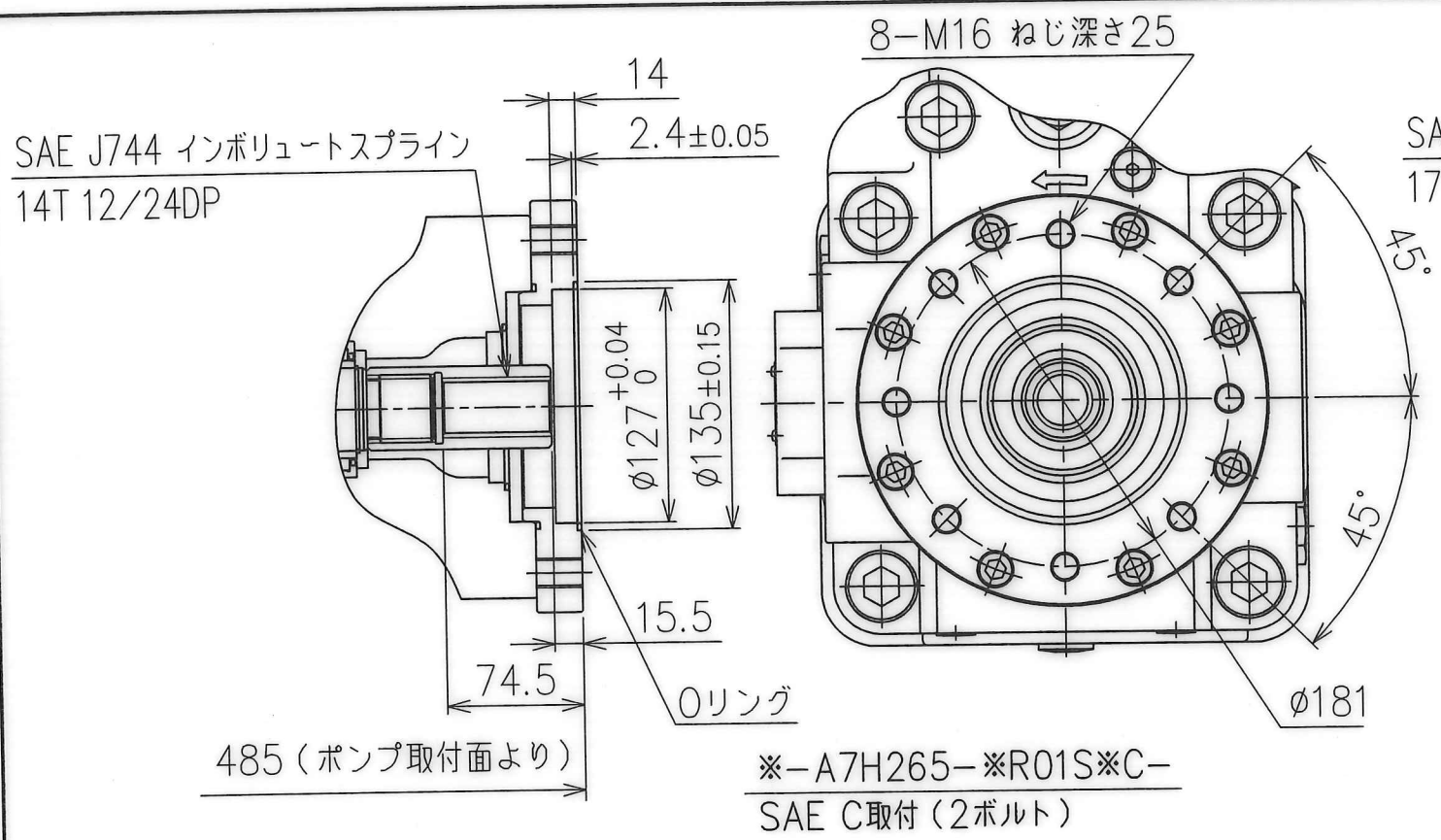
$$\frac{T_1}{\text{メインポンプ}} + \frac{T_2}{\text{第2ポンプ}} \leq 2500 \text{ (N} \cdot \text{m)}$$

$$T_1 \leq 1500 \text{ (N} \cdot \text{m)}$$

$$T_2 \leq 1000 \text{ (N} \cdot \text{m)}$$

※上記以外の寸法は、1/4項参照願います。

SIGN	DATE	DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD.
	APPROVED	CHECKED	
REVISIONS	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION		NAME A7H265形 可変ピストンポンプ 圧力コンペンセータ制御
	FILE NO.	DWG NO.	
SYM	2177	PA315749-2-0	(2/4)



合計軸トルクについて
下記計算式を参考にして、各ポンプの軸トルクは
下記範囲内としてください。

$$\frac{T_1}{\text{メインポンプ}} + \frac{T_2}{\text{第2ポンプ}} \leq 2500 \text{ (N}\cdot\text{m)}$$

$$T_1 \leq 1500 \text{ (N}\cdot\text{m)}$$

$$T_2 \leq 1000 \text{ (N}\cdot\text{m)}$$

※上記以外の寸法は、1/4項参照願います。

SIGN	DATE	DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD.	
	APPROVED	CHECKED	MODEL NO.	※-A7H265-※R01S※ ^C CC-11
REVISIONS	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION		NAME	A7H265形 可変ピストンポンプ 圧力コンペンセータ制御
DATE	FILE NO.	DWG NO.	(3/4)	
	2177	PA315749-2-0		

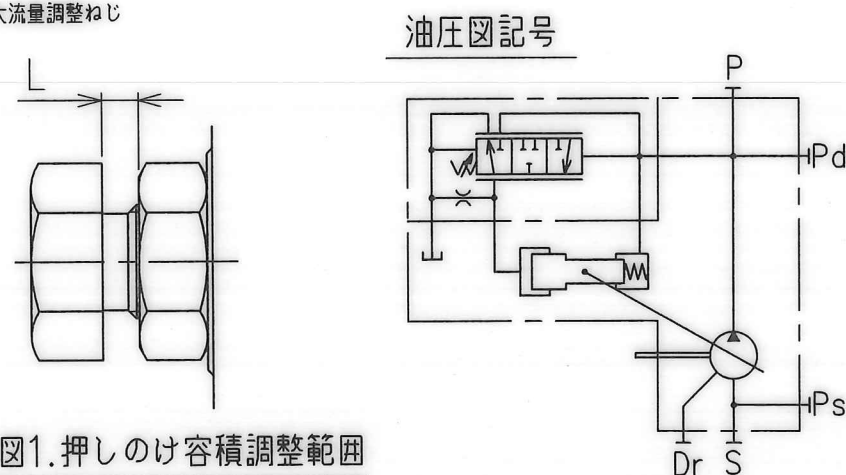
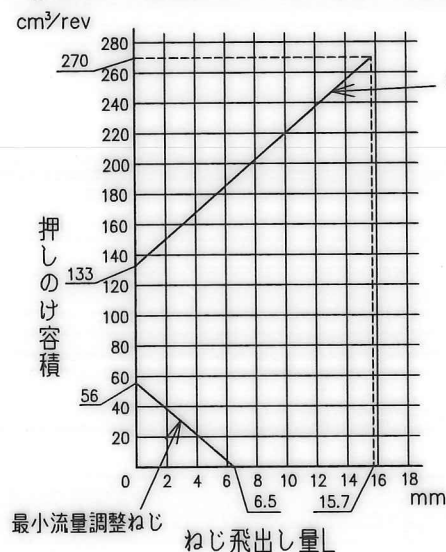
使用上の注意

- 1, 駆動軸およびフランジ部を洗浄してください。(防錆剤の除去)
- 2, 外部ドレンは上部のドレンポートから取り、ドレン配管はドレンポートサイズ以上の口径のものを使用してください。
- 3, ドレン配管はケーシング内圧が、常用で0.1MPa以下、サージ圧で0.4MPa以下になるように選定してください。
- 4, ドレンの戻りはタンク油面より下になるようにしてください。(泡立ち防止)
- 5, 作動油は耐摩耗性油圧作動油を使用してください。
- 6, 作動油の汚染管理: タンクの作動油はNAS 1638 9級 (ISO4406 -/18/15) 以内の清浄な作動油に管理してください。
- 7, ポンプ吸込みラインには150メッシュ (100 μ m) のサクションストレーナを使用してください。
- 8, 回路の戻りラインには10 μ mのライン用フィルタを設置してください。
- 9, 吸込みフランジとして付属のフランジを使用する場合、吸込みポートサイズとは異なり適用鋼管サイズは3Bとなります。
- 10, 運転始動時には、必ず注油口からポンプケーシング内に油を充填させてください。
- 11, カップリングは叩いて挿入せずに、軸端のねじ (M20 \times 42L) を利用して圧入してください。
- 12, ポンプ吊り上げ時、ポンプに重量物を取付けないでください。吊りボルト2ヶ所を使用して吊り上げてください。(許容最大荷重: 2ヶ所で450kg)
- 13, ポンプの駆動軸と原動機との結合には、原則としてたわみ軸継手、チェーンカップリングなどのフレキシブルカップリングを用いてください (タイヤ形カップリングは使用しないでください)。なお、駆動軸とのズレがTIR.0.05mm, 角度誤差0.2°を越えないようにしてください。
- 14, 堅型で使用する場合は、取扱説明書に記載されている注意事項を厳守してください。
- 15, 水グリコール系作動油をご使用の場合、シャフトオイルシール部より軽微な油漏れが発生します。(漏れ量の目安: 500mL/6ヶ月)
ポンプベースに適切な容量のトレイを設置してください。
- △ 16, 表1 水グリコール系作動油をご使用の場合、主軸ベアリング冷却の為、エア抜きポート”A”を強制潤滑ポートとして使用してください。冷却油量: 4L/min, 供給圧力: MAX. 0.1MPa

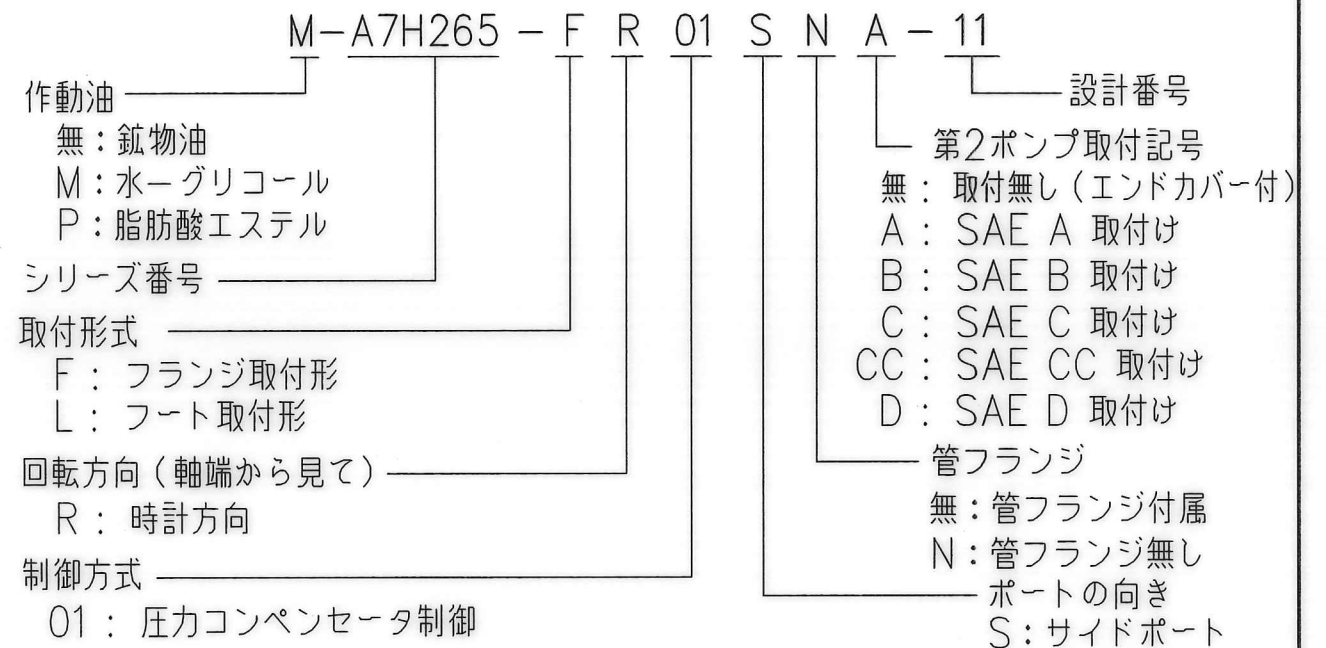
作動油の種類	圧力		回転数			吸込み圧力※ ₁		温度範囲		粘度範囲※ ₂	
	最高 MPa	定格 MPa	最高 (自吸) r/min	定格 r/min	最低 r/min	最高 MPa	最低 MPa	最高 °C	最低 °C	最高 mm ² /s	最低 mm ² /s
鉱物油系	40	35	1600	1200	600	1	-0.01	80	-20	200	10
脂肪酸エステル系	40	35	1600	1200	600	1	0	70	10	200	10
水グリコール系	25	21	1200	1200	600	1	0	50	10	200	20

※₁ 吸込みポート部における数値です。

※₂ 200~1000mm²/sの場合、本格運転に入る前に暖気運転を行い、上記粘度範囲になるようにしてください。



モデル番号の構成



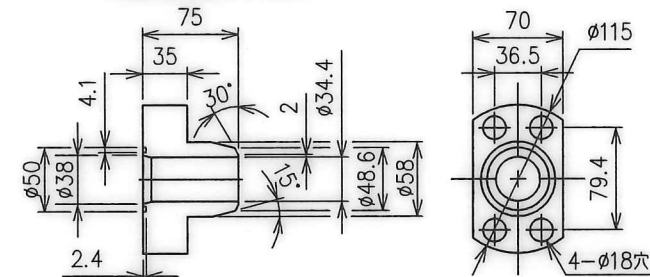
仕様

理論押しおけ容積 270 cm³/rev
最低調整圧力 10 MPa
他の仕様は表1、図1参照

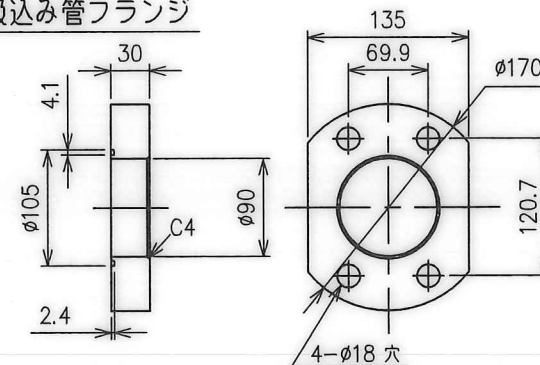
調整ねじ1回転当たりの調整量

最大流量調整ねじ: 22cm³/rev
最小流量調整ねじ: 22cm³/rev
圧力調整ねじ: 6.4MPa

吐出し管フランジ



吸込み管フランジ



	鋼管呼び	使用ボルト	Oリング
吐出し	1 1/2	M16 \times 55Q	G45
吸込み	3	M16 \times 50Q	G100

林 16-0798/26 REVISIONS DATE 2177 FILE NO.	DATE	DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD. MODEL NO.	
	APPROVED	CHECKED		NAME
	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION		DWG NO. PA315749-2-1 (4/4)	
	11 D		11 D	